



みんなと  
あそぼう!!

ひよこ

おともだちつくる!  
ひよこのお知らせ

## 子育ての息抜きに遊びに来ませんか

おもちゃ遊び、ボールプール、授乳・お昼寝スペース、保護者のための喫茶コーナーなどを用意してみなさまのお越しをお待ちしています。  
(運営: 下田市社会福祉協議会 協力: しもだ子育て応援隊ぽぽ)

### ひよこサロン

- 時 間 / 午前10時から正午
- 入場無料 (未就学児と保護者対象)

妊婦の方も歓迎  
ぜひ遊びに来て下さい

開催日	内 容	会 場
1月22日(土)	遊・VIVA! ひよこルーム	みくらの里
2月 7日(月)	ひよこサロン	道の駅関国下田みなと
2月19日(土)	遊・VIVA! ひよこルーム	中央公民館
3月 7日(月)	ひよこサロン	道の駅関国下田みなと

注) 3月12日(土)の遊・VIVA!『ひよこルーム』はカブラ大会のためお休みです。  
※体調不良の方の入場は、ご遠慮頂く場合があります。

### ひよこルーム (場所は上記のとおりです)

- 時 間 / 午前10時から午後3時
- 遊・VIVA! 入場料 大人・小人(2歳以上)一律100円

※下田市社会福祉協議会は遊・VIVA!を後援し、就学前の小さなお子様を対象にした「ひよこルーム」を遊・VIVA!内で開催しています。

## ひよこサロン



## 寄付者一覧 (平成22年12月)

下田市社会福祉協議会へ寄付して下さったみなさまです。心あたたまる寄付をありがとうございます。みなさまのお気持ちを大切に活かします。

<現 金> 秋葉正廣 様 ・森 善之助 様 <順不同>

## 収集ボランティア活動者一覧 (平成22年12月)

<フルタイム寄付...☒ 使用済みテレカ寄付...☒ 古切手...☒ >

・土屋房枝 様☒ ・森 善之助 様☒ ・サニーステップ 様☒  
・仲工門商店 様☒ ・黒船ホテル 様☒ <順不同>

## 暮らしの相談開催日程

相談やサービスを提供する上で得た情報は、本人の同意なく第三者に提供しません。

**福祉総合相談** (月～金曜日(祝日を除))  
時 間 9:00～17:00  
相 談 員 社協スタッフ  
問合先 下田市社会福祉協議会: 電話22-3294  
福祉サービスや利用手続き、日常生活における心配ごと等を関係機関と連携して問題解決のお手伝いをします。

**ボランティア相談** (月～金曜日(祝日を除))  
時 間 9:00～17:00  
相 談 員 社協スタッフ  
問合先 下田市社会福祉協議会: 電話22-3294  
ボランティアをしたい人、力を借りたい人、希望にあった活動のご案内をします。

**介護相談** (月～金曜日(祝日を除))  
時 間 9:00～17:00  
相 談 員 社協スタッフ(介護支援専門員等)  
問合先 下田市社会福祉協議会: 電話22-3294

**法律相談** (毎月第1火曜日)  
時 間 13:30～16:30  
相 談 員 弁護士  
申 込 先 下田市社会福祉協議会: 電話22-3294  
※完全予約制

**心配ごと相談** (毎月第2・4水曜日)  
時 間 10:00～15:00  
相 談 員 下田市民生委員児童委員  
場 所 下田市役所2階会議室

※各々の相談において該当日が祝日の時は休みとなります。

【無料】

## 静岡県社会福祉協議会 教育支援資金のご案内

大学、短期大学、専門学校へ進学を希望されるお子さまがいらっしゃるご家庭で、教育資金にお困りの方を対象に資金のご案内をいたします。申込から審査、借入れまでに1ヶ月から1ヶ月半ほどのお時間が必要です。受験する学校が決まりましたら先ずご相談ください。

### ※貸付金額(限度額)

学 校	教育支援費(月額)	就学支度費
専 門 学 校	60,000円迄	500,000円迄 (入学時のみ)
短 期 大 学	60,000円迄	
大 学	65,000円迄	

※貸付において、以下の点にご留意いただいた上で、ご相談ください。

- ・所得制限があります。
- ・詳細な利用目的があります。
- ・世帯の生計中心者の方が連帯借受となります。
- ・連帯保証人が必要です。
- ・社協スタッフと民生委員がご家族と面談することが必須です。
- ・既に支払いを済ませた入学金・学費・諸経費は貸付対象外です。
- ・申込時に決めた返済期限を過ぎると、延滞利子(年利10.75%)がかかります。

注) 下田市社会福祉協議会は申込受付窓口です。貸付審査は静岡県社会福祉協議会が行います。

お願い 相談をご希望の際は、必ず事前にお電話でご予約ください。

ふだんの  
くらしの  
あわせ

## わがまち下田に住み続けたい 社協だより



赤ちゃんふれあい体験  
災害への取組み 避難所宿泊体験  
家族のつとめの開催  
車いすで街へ出てみよう 小学生ボランティア講座  
共同募金協力のお礼  
おともだちつくる!ひよこのお知らせ  
教育支援資金のご案内  
寄付のご報告  
収集ボランティア活動者一覧  
暮らしの相談開催日程



# 赤ちゃんふれあい体験

下田東中学校2年生

平成22年12月9日(木)、※下田子育てネットワークの主催で下田東中学校2年生39人を対象に“中学生赤ちゃんふれあい体験”を行いました。少子化・核家族化により赤ちゃんに触れ合う機会が少ない中学生に赤ちゃんとの交流の場を提供することで、命の大切さを実感したり、お母さんたちがいかに愛情を注いで子育てをしているかを認識してもらうことが目的です。東伊豆町在住の助産師、藤邊久美さんから命の重さや助産師活動を通じて日頃感じている命の大切さの講義、出産を間際に控えている妊婦さんへのインタビューを行った後、親子15組が待つ別室へ移動。最初、戸惑い気味だった生徒たちはスタッフやお母さんたちから声をかけられ、恐る恐る実際に赤ちゃんを抱っこしてみました。赤ちゃんのかわいらしい笑顔によって徐々に緊張がほぐれ、お母さんたちから赤ちゃんのあやし方や抱き方を教わりました。帰っていくお兄さんに名残惜しそうに手を振り続ける赤ちゃんの姿もみられ、お互いに楽しく貴重な時間を過ごしました。また、生徒は『妊婦体験ジャケット』を身につけて実際に階段の上り下りなどを行い、妊婦の疑似体験をしました。今後、満員電車の中で妊婦の方を見かけたら席を譲るなどの心遣いを忘れないでほしいと思います。

※下田子育てネットワークとは…

下田市役所(学校教育課、福祉事務所、健康増進課)と、子育て支援センター、地域福祉活動推進会社会サービス部会、市内ボランティア団体(遊・VIVA!ネットワーク、しもだ子育て応援隊ぽっぽ)、下田市社会福祉協議会などで構成しています。市民と行政が連携して、地域の子育て支援を行うための下田子育てガイドブックの作製や地域の子育てに関する課題解決に向けて様々な取り組みをしています。

# 災害への取組み

## 「避難所宿泊体験」を開催

大地震や台風などの災害が起きた場合、学校の体育館などに避難して寝泊まりしないといけないことがあります。最近では昨年9月に発生した小山町の集中豪雨が記憶に新しいところです。今回下田小学校の体育館をお借りし、地元小学生から大人まで約30名が参加した初めての避難所宿泊体験を行いました。

賀茂災害ボランティアコーディネートの会をはじめ、下田小学校区安全会議、下田小学校、教育委員会、下田市、賀茂危機管理局の皆様にご協力いただきました。



参加者が自ら寝袋を持参し、実際に体育館の床に寝てみました。



下田小学校の敷地で、非常食を作り、避難所での食事を体験しました。



防災講座では、日頃の備えや避難所生活での課題を学びました。



地震体験車に乗ってみました。震度7のときは、まったく身動きがとれませんでした。

下小体育館に泊まりました！

## 今年も「家族のつどい」を開催します。

介護や障がいを抱える人を支える『家族』やそれを支える人がつながり、力を合わせていく場が一層発展していくために、「平成22年度 家族のつどい」を開催します。

◆日時：平成23年3月11日(金) 13:00～16:10

13:00～13:30 オープニングセレモニー

13:30～15:30 寸劇・グループワーク

<テーマ>「認知症を抱えていても自宅で暮らせるまちづくり」(寸劇)はつらつ健康劇団

(コーディネーター) 静岡県立大学短期大学部 川島 貴美江さん

15:30～16:00 フルート演奏／(演奏) 高地 紗恵子さん

16:10 閉会

◆会場：下田東急ホテル(下田市5-12-1)

【主催】社会福祉法人下田市社会福祉協議会(下田市4-1-1) 電話:22-3294 FAX:22-0584

【協力】下田市在宅介護者の会、あしたば会、下田市地域包括支援センター

## 参加者募集

◆対象：家族会に参加しているまたは参加したい方、『家族』を支援しているまたは関心のある方

◆参加費：1,000円(茶菓代・資料代として)

◆参加申込：主催者に電話でお申込みください



## 車いすで街へ出てみよう。

平成22年11月27日(土)

小学生ボランティア講座を開催

今回の講座は、子育て支援活動をしている市内ボランティアグループ『遊・VIVA!ネットワーク』の小学生スタッフとの車いす体験学習(車いすユーザーからのお話、使用体験)です。

当日は車いすで実際に街へ出て、買い物をしてみました。車いすを使う人の目線で街の中を移動すると、歩いている時には全く気付かない道路の小さな段差や歩道の斜度、側溝の隙間などで行く手を遮られることが分かります。脳性まひにより車いすを使用している佐々木大志郎さんが、自身の生活を通じて得た「命の大切さ」や「友情の大切さ」、「困難にぶつかった時どのように向き合うか」についての話をしてくれました。「情けは人のためならず。あなたが人に対してくれた「やさしい気持ちや想い」はまた次の人につながり、世界をめぐってまた自分のもとに帰ってくる。そんな温かい気持ちにあふれた社会にしていきたいですね」。この日参加者に贈られた佐々木さんからのメッセージです。



## 共同募金へご協力くださいました市民のみなさまへ。

10月1日から実施しました『赤い羽根募金』、そして12月の『歳末たすけあい募金』へ市民のみなさまから貴重な寄付を賜りました。誠にありがとうございます。「ご協力いただいた募金はその地域で活用する」という共同募金の考え方のもと、みなさまからの募金は下田市内で実施する地域活動の財源とさせていただきます。今回の募金活動期間中に募金ボランティアがみなさまのもとへ伺い、約400万円のご協力をいただきました。この募金の約3/4はみなさまと共に実施する下田市内の地域福祉活動へ、残り1/4は静岡県下福祉施設の充実のために利用させていただきます(平成22年度、下田市内の『ワークあおぞらに』車椅子移動用車両1台が配備されました)。今後とも変わらぬご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

ありがとうございます！

